



Vance & Hinesのマフラーは、最高のパフォーマンス、完璧なフィット感、素晴らしいサウンド、そして比類ないスタイルに設計、製造されています。ご不明な点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでお電話ください。

取り付け作業を行う方(所有者以外の場合)は、この取扱説明書を本製品の所有者にお渡ししてください。この取扱説明書には、エンドユーザーにとって貴重な情報が記載されています。

必要工具



取り付け前に本説明書をよくお読みください

1. O2 センサーの電線を、ハーネスから抜きます。電線の端部をフレームに通してバイクから外してください。注:再装着する際は、ワイヤーの取り回しに注意してください。
2. フロントとリアの両方の排気管にあるヒートシールドクランプを緩めることでヘッドパイプのマウンティングナットにアクセス出来るようになります。
3. ヘッドパイプの取り付けナット 2 個を、シリンダーヘッドにある各フランジから外します。
4. リアヘッドパイプとベルトドライブカバーブラケットを固定しているクランプボルトを外します。
5. 各マフラー本体の、マウンティングバーに取り付けられた 2 本のボルトを取り外します。排気管を車体から取り外して置いておきます。
6. ドライブベルトカバーを取り外し、ブラケットからリアカバーボルトを外します。ブラケットは再利用しません。
7. ニードルノーズプライヤーを使用して、ブレーキペダルのリンチピンから Eクリップを取り外し、フットコントロールを取り外します。
8. マフラーマウンティングバーの 3 本のマウントボルトとワッシャを取り外します(金具は再使用するため保管してください)。
9. スナップリングプライヤーを使って、純正マフラーからエキゾーストポートフランジとサークリップを取り外します。注:曲がった、または損傷したサークリップは交換してください。エキゾーストポートガスケットの状態を確認してください。推奨される交換用エキゾーストポートガスケット、ハーレー純正品番:17048-98又は65324-83B。

図 1



フランジヘッドボルト (1)と  
ブラケット812-Pを取り付ける

図 2



クランプ装着のため、パイプ端部に  
マークを付ける

図3

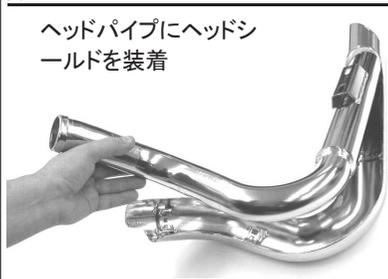


図4

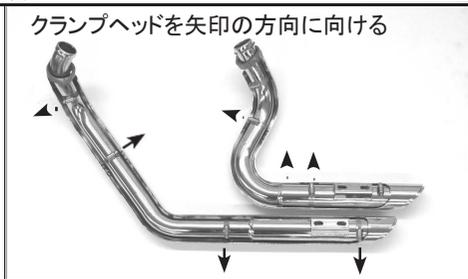


図5



図6



1. アッパーパイプまたはリアパイプ用のブラケット812-Pの前方マウンティングホールにフランジヘッドボルトを1つ入れます。(図1)
2. ブラケット(型番:812-P)を取り付け、純正ワッシャとボルトを使用して30-33Ft/Lbs(40~40Nm)のトルクで締めます。
3. ドライブベルトカバーを再装着します。3/8インチボルトを30-33Ft/Lbs(40~40Nm)、1/4インチボルト2本を80-120In/Lbs(9~13Nm)まで締めます。
4. プレーキロッド、プレーキペダルリンチピンおよびEクリップを再度取り付けます。フットコントロールを再度取り付けます。
5. ヘッダーパイプとヒートシールドを箱から取り出します。各ヒートシールドを毛布やカーペットのようなざらつきの無いところに置きます。鉛筆で各ヒートシールドの外側の縁に軽く印をつけ、ホースクランプを通すマウンティングクリップの位置をマークします(図2)。注:マークは、コーティングを傷つけないように注意しあとで消してください。
6. ヘッドパイプをヒートシールドの中に装着し(図3)、クランプの端部をヒートシールドのクリップに通してホースクランプを緩めに装着します(図2)。ネジの頭の向きに注意してください(図4)。調整のためにマフラーを車体に取り付けたとき、ネジにアクセスできるようにする必要があります。ヘッドパイプには#20のホースクランプを、マフラー本体には#28のホースクランプを使用します(付属品)。
7. O2センサーのネジ部に少量の固着防止剤を塗布し、新しいヘッドパイプに取り付けます。注意:センサーの先端に固着防止剤が付着すると、センサーの機能に影響を与える可能性がありますので、注意してください。
8. スナッピングプライヤーを使って、純正マフラーのサークリップとフランジを両方の新しいヘッドパイプに取り付けます。
9. 純正フランジナットを使用し、ヘッドパイプをエキゾーストポートに取り付けます(補助が必要な場合があります)。注:この時点ではナットを締めないで下さい。
10. マフラーボディの裏側に溶接されたブラケット内にナットプレートを挿入します(図5)。ナットプレートを固定したまま、5/16インチ×5/8インチフランジヘッドボルト(付属品)3本を使用してマフラー本体をマウンティングブラケット812-Pに取り付けます。この時、ボルトは緩めたままにしておきます。
11. パイプが平行であることを確認しながらフロントとリアのシリンダーポートのエキゾーストフランジナットを締めます。
12. 両マフラーのフランジボルトを締めます。
13. すべてのヒートシールドクランプを締めます。注:マフラーボディの突出量は、両パイプとも同じである必要があります。(図6)
14. O2センサーをワイヤーハーネスに再び差し込み、車体の高温部分から電線を離します。
15. 新しいナイロン製タイラップ(付属)を取り付け、フロント用の電線を元の位置のフレームに固定します。
16. 排気系部品と熱による損傷を受けやすいパーツの間に十分なクリアランスがあるかどうか点検してください。
17. 取り付け後バイクを始動する前に、暖かい石鹸水と清潔な柔らかい布で、パイプとマフラーをしっかりと清掃し、清潔なタオルで乾かします。注:残留物、油、指紋があると、黒いコーティングが汚れます。コーティングがはがれる可能性があるため、パイプの清掃には研磨剤を使用しないでください。
18. バイクを始動する前に、必ずすべての金具を締めてください。

### エキゾーストケアマフラーの変色を避けるためのコツ

1. 新しいブラックパイプのセットを取り付ける際には、手が清潔な状態であることを確認してください。取り付け後、暖かい石鹸水と柔らかい布でパイプをしっかりと拭きます。バイクを始動する前に、清潔なタオルで拭き取り、残留物を取り除きます。パイプの洗浄に研磨剤は使わないでください。
2. 長時間のアイドリングは変色の原因となりますので、おやめください。
3. 吸気漏れは、リーンバーンを引き起こし、変色の原因となることがあります。
4. 排気管とシリンダーヘッドの接合部に排気漏れがないことを確認してください。ガスケットが劣化している場合は交換をお勧めします。

### VANCE & HINES オプションアクセサリ

クワイエット  
パッフル

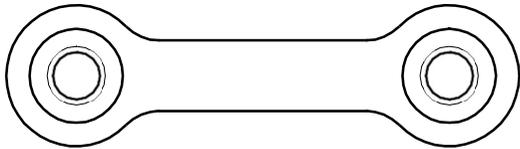


このシステムには静音パッフルP/N 21301が使用できます。クワイエットパッフルを装着することで、平均して2~3dbの音圧レベルを下げるができます。ご注文の際はお近くの販売店にお問い合わせください。

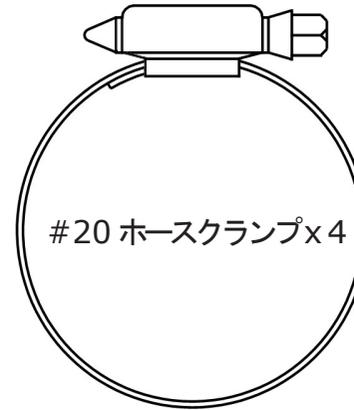
注意: Vance & Hinesのマフラーは、コーナリングクリアランスを向上させるためにあらゆる工夫を行っています。しかしバイクのモデルによっては、設計やスペースの制限により、地上とコーナリングのクリアランスが改善されないことがあり、場合によっては減少することがあります。必ず説明書に従ってください。



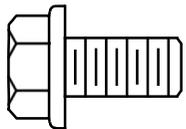
パッキングリスト



ナットプレート x2



#20 ホースクランプ x 4

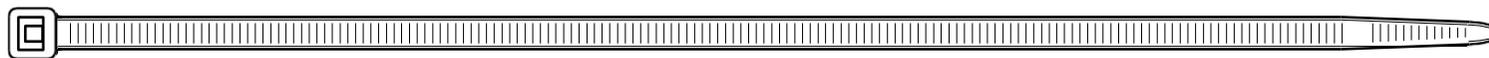


5/16" x 5/8" フランジヘッドボルト x 4



#28 ホースクランプ x 3

ナイロンケーブルタイ x 1



図には無いパーツ:

- 812-P ブラケット x1
- D786FC フロントヘッドパイプ x1
- D787FC リアヘッドパイプ x 1 D788HP
- フロントヘッドシールドx1
- D789HP/D1789HP-Sリアヘッドシールドx1

保証

Vance & Hinesマフラーは、材料および製造上の欠陥に対して、正規販売店からの購入日から90日間の保証が付いています。この保証はクローム仕上げの変色には適用せず、通常の使用で欠陥があると証明された製品の修理または交換に限定されます。Vance & Hinesのマフラーは、OEMモーターとシャーシに適合し、作動するように設計されています。この保証は、乱用、誤用、不適切な取り付けまたは改造の対象となる製品には無効です。

MORE POWER: LESS NOISE

図は実際のサイズと同じです